



災害復旧に

「かごマット工法」



かごマット工法のご案内

近年の気候変動による局所豪雨により、中小河川の河岸決壊が全国で多発しています。

異常な洪水により護岸天端を超え、あるいは背面洗堀などにより崩壊している護岸構造物被災の災害復旧には、「かごマット工法」が適正と考えます。



かごマット工法は、「鉄線籠型護岸設計・施工基準(案)」や「美しい河川を守る災害復旧」などにより、恒久護岸工法として採用されてきています。かごマット工法は、地盤の変形に順応した柔軟な構造であり、越流や背面地盤の変形にも対応できます。

是非、河岸災害復旧にかごマット工法をご検討ください。



概要

▶適用工種

- ・河川護岸工・根固工・越流堤
- ・海岸護岸工・根固工・緩傾斜堤
- ・一般土留工
- ・その他

▶設計法と仕様

- ・国土交通省で定めている、かごマット工の設計に関する技術基準(案)
- ・かごマット工法技術推進協会が定めている、かごマット工の構造と仕様

かごマット工法技術推進協会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-11-5 森谷ビル3F

TEL / FAX : 03-3504-2023

<http://www.kagomatto-kyokai.jp>

災害復旧に「かごマット工法」



▶ 護岸倒壊事例

かごマット護岸は、柔軟な構造でゲリラ豪雨等による越流に強い護岸です。

かごマット護岸は、簡単には壊れません。多孔性の為、護岸付近の流勢を和らげます。



▶ かごマット非倒壊写真

かごマット工法技術推進協会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-11-5 森谷ビル3F

TEL / FAX : 03-3504-2023

<http://www.kagomatto-kyokai.jp>